

**KAWAI****2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）**

2020年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所

コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸 TEL 053-457-1227

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	71,302	△1.5	2,960	△19.3	3,118	△20.4	1,545	△23.1
2019年3月期	72,376	2.2	3,669	33.5	3,918	27.7	2,010	3.0

(注) 包括利益 2020年3月期 1,086百万円 (△47.6%) 2019年3月期 2,073百万円 (△14.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	180.17	—	6.1	5.9	4.2
2019年3月期	235.23	—	8.4	7.4	5.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △14百万円 2019年3月期 △16百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	51,758	25,717	49.5	2,980.47
2019年3月期	53,231	25,005	46.8	2,912.42

(参考) 自己資本 2020年3月期 25,617百万円 2019年3月期 24,915百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,572	△1,651	△1,393	9,562
2019年3月期	3,654	△846	△1,656	11,055

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	470	23.4	2.0
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	472	30.5	1.9
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

※2019年3月期の配当金総額には、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式に対する配当金を含めておりません。

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現時点では合理的に算定することが困難であることから未定としております。業績予想につきましては、合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	9,011,560株	2019年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2020年3月期	416,474株	2019年3月期	456,554株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	8,575,898株	2019年3月期	8,545,048株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入していましたが、2019年11月29日をもって終了しております。なお、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年3月期 19,192株）

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	49,481	△4.0	9	△98.8	843	△50.8	217	△70.7
2019年3月期	51,524	2.6	763	—	1,715	△59.6	740	△80.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	25.33	—
2019年3月期	86.69	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	36,994	13,651	36.9	1,588.27
2019年3月期	38,273	14,118	36.9	1,650.38

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,651百万円 2019年3月期 14,118百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、消費税増税による国内景気の低迷懸念や不安定な国際情勢の中において輸出や生産の一部に弱さが見られました。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東情勢の緊迫化、欧州における不安定な政治情勢の影響もあり、先行き不透明な状況の中、期末にかけて発生した新型コロナウイルス感染症が全世界へ拡大し、今後も日本経済を含め景気の厳しい状況が続くことが予想されます。

このような経営環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate 2021」を策定し、100年ブランドの確立に向け、祖業であるピアノづくりでトップブランドを目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組んでおります。

国内では、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域ユニット体制による営業活動の強化に継続して取り組み、カワイブランドの発信拠点となる店舗を最大限に活用し、誕生から20周年を迎えた『Shigeru Kawai』など高付加価値商品の販売に取り組みました。

海外では、米国やドイツでの直営店を中心として鍵盤楽器の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウを活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、ダイナミックな響きの再現を可能にした響板スピーカーとアップライトピアノのアクションを搭載したハイブリッドピアノ『NOVUS NV5』を開発し、10月に発売しました。また1月に米国で開催された『2020 NAMM Show』では、グランドピアノの弾き心地を再現したハイエンドモデルのデジタルピアノ『CA99』『CA79』を発表し、当社商品の魅力を世界に発信しました。

また、創立90周年の節目に合わせ創設した『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』の第3回を開催し、18の国と地域からエントリーした234名のピアニストがハイレベルな演奏を繰り広げ、大きな反響を頂きました。引き続き次世代を担うピアニストの発掘・育成や、世界の音楽文化の振興にも力を入れてまいります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 71,302百万円（前期比 1,073百万円減）、営業利益は 2,960百万円（前期比 709百万円減益）、経常利益は 3,118百万円（前期比 799百万円減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,545百万円（前期比 464百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### (楽器教育事業)

楽器教育事業は、主力のピアノは『Shigeru Kawai』やハイブリッドピアノ『AURES』などの高付加価値商品の販売が好調で、日本、欧州、中国で堅調に推移しました。デジタルピアノは販売体制の強化により中国で伸長し、欧州でも最上位モデルの『CAシリーズ』や、『CNシリーズ』が堅調に推移しました。しかしながら、円高による為替影響や、第4四半期以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い音楽教室や体育教室を休講としたことなどにより、売上高は 57,049百万円（前期比 1,536百万円減）となり、営業利益 1,814百万円（前期比 763百万円減益）となりました。

#### (素材加工事業)

素材加工事業は、半導体関連部品や自動車の内装部品の受注が減少したことなどにより、売上高は 9,646百万円（前期比 959百万円減）となり、営業利益 1,124百万円（前期比 6百万円減益）となりました。

#### (その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器の販売増加により、売上高は 4,605百万円（前期比 1,422百万円増）となり、営業利益 142百万円（前期比 134百万円増益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の流動資産は、現金及び預金の減少等により 29,183百万円（前期末比 677百万円減）となりました。また固定資産は、投資有価証券の減少や繰延税金資産の減少などにより 22,575百万円（前期末比 795百万円減）となり、資産合計は 51,758百万円（前期末比 1,473百万円減）となりました。

## (負債)

当連結会計年度末の流動負債は、14,927百万円（前期末比 1,674百万円減）となりました。これは短期借入金と未払金が減少したことによるものです。また固定負債は、長期借入金の減少や退職給付に係る負債の減少などにより 11,113百万円（前期末比 510百万円減）となり、負債合計は 26,041百万円（前期末比 2,185百万円減）となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は 25,717百万円（前期末比 712百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益などによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、換算差額等を含め 1,492百万円減少したことなどにより 9,562百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益 2,976百万円、減価償却費 1,587百万円、法人税等の支払額 1,257百万円などにより 1,572百万円の資金増加（前期は 3,654百万円の資金増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 1,105百万円、無形固定資産の取得による支出 207百万円などにより 1,651百万円の資金減少（前期は 846百万円の資金減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出 438百万円、長期借入金返済による支出 518百万円などにより 1,393百万円の資金減少（前期は 1,656百万円の資金減少）となりました。

## キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	44.1%	43.9%	46.8%	49.5%
時価ベースの自己資本比率	41.3%	57.1%	46.2%	40.2%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	2.5年	2.6年	1.9年	3.8年
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	52.6	63.3	80.2	37.1

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しや世界経済の先行き、当社グループを取り巻く経営環境については、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、非常に不透明な状況となっております。

こうした中、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate 2021」に基づき、長期ビジョンとして『100年ブランド』の確立を掲げ、100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ってまいります。

なお、当社グループの次期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、音楽教室や体育教室の休講や商品販売の減少が見込まれますが、現時点では合理的に算定することが困難であることから未定としております。業績予想につきましては、合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の経営環境ならびに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定的な配当及び資本効率の向上を目的とした機動的な株主還元を行うことを基本方針とし、総還元性向の向上に努めております。

剰余金の配当につきましては、中間配当制度を設けていますが、経営基盤の安定化を考慮し、現在は期末配当のみの年1回を基本方針としております。剰余金の配当の決定機関については、株主総会の決議とともに取締役会の決議によっても行う旨を定款で定めておりますが、期末配当金については定時株主総会の決議により決定することを原則としております。

上記の方針を踏まえて、当期につきましては1株当たりの期末配当金は55円00銭を予定しております。

次期の配当金につきましては、現時点では未定としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,798	10,388
受取手形及び売掛金	7,434	6,471
商品及び製品	5,496	6,207
仕掛品	1,552	1,477
原材料及び貯蔵品	2,208	2,779
その他	1,524	1,992
貸倒引当金	△153	△132
流動資産合計	29,861	29,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,355	17,401
減価償却累計額	△12,485	△12,762
建物及び構築物(純額)	4,870	4,638
機械装置及び運搬具	12,737	13,030
減価償却累計額	△10,680	△11,007
機械装置及び運搬具(純額)	2,056	2,022
土地	6,345	6,340
建設仮勘定	125	77
その他	6,149	6,480
減価償却累計額	△5,405	△5,509
その他(純額)	743	971
有形固定資産合計	14,142	14,050
無形固定資産		
投資その他の資産	862	819
投資有価証券	5,857	5,619
繰延税金資産	1,089	670
その他	1,541	1,559
貸倒引当金	△122	△143
投資その他の資産合計	8,365	7,705
固定資産合計	23,370	22,575
資産合計	53,231	51,758

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,265	4,365
短期借入金	5,859	5,294
未払金	2,144	1,437
未払法人税等	732	386
賞与引当金	897	905
製品保証引当金	94	111
その他	2,609	2,425
流動負債合計	16,602	14,927
固定負債		
長期借入金	1,091	700
繰延税金負債	0	0
環境対策引当金	29	30
退職給付に係る負債	9,479	9,267
資産除去債務	601	602
その他	420	513
固定負債合計	11,624	11,113
負債合計	28,226	26,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	17,189	18,262
自己株式	△1,061	△963
株主資本合計	24,508	25,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873	554
為替換算調整勘定	△101	△277
退職給付に係る調整累計額	△364	△339
その他の包括利益累計額合計	407	△62
非支配株主持分	89	100
純資産合計	25,005	25,717
負債純資産合計	53,231	51,758



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	72,376	71,302
売上原価	53,131	52,766
売上総利益	19,245	18,535
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,196	2,238
貸倒引当金繰入額	△16	5
給料手当及び賞与	5,560	5,472
賞与引当金繰入額	423	429
退職給付費用	440	439
その他	6,971	6,990
販売費及び一般管理費合計	15,575	15,575
営業利益	3,669	2,960
営業外収益		
受取利息	69	66
受取配当金	33	51
固定資産賃貸料	42	37
為替差益	160	85
その他	119	63
営業外収益合計	425	304
営業外費用		
支払利息	48	45
手形売却損	14	15
寄付金	37	43
持分法による投資損失	16	14
その他	59	27
営業外費用合計	176	146
経常利益	3,918	3,118
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	7	29
特別利益合計	8	29
特別損失		
固定資産除却損	14	28
固定資産売却損	5	0
投資有価証券売却損	475	—
教室等休講による損失	—	142
特別損失合計	496	171
税金等調整前当期純利益	3,430	2,976
法人税、住民税及び事業税	1,327	924
法人税等調整額	88	493
法人税等合計	1,415	1,418
当期純利益	2,014	1,558
非支配株主に帰属する当期純利益	4	13
親会社株主に帰属する当期純利益	2,010	1,545

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,014	1,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	295	△318
為替換算調整勘定	△444	△176
退職給付に係る調整額	201	24
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△1
その他の包括利益合計	58	△472
包括利益	2,073	1,086
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,077	1,075
非支配株主に係る包括利益	△4	10

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	15,609	△1,112	22,877
当期変動額					
剰余金の配当			△429		△429
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,010		2,010
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分				52	52
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,580	50	1,630
当期末残高	7,122	1,257	17,189	△1,061	24,508

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	578	327	△565	339	93	23,311
当期変動額						
剰余金の配当						△429
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,010
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						52
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	295	△428	201	67	△4	63
当期変動額合計	295	△428	201	67	△4	1,694
当期末残高	873	△101	△364	407	89	25,005

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	17,189	△1,061	24,508
当期変動額					
剰余金の配当			△472		△472
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,545		1,545
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				98	98
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,072	98	1,170
当期末残高	7,122	1,257	18,262	△963	25,679

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	873	△101	△364	407	89	25,005
当期変動額						
剰余金の配当						△472
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,545
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						98
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△318	△175	25	△469	10	△458
当期変動額合計	△318	△175	25	△469	10	712
当期末残高	554	△277	△339	△62	100	25,717

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,430	2,976
減価償却費	1,526	1,587
長期前払費用償却額	11	12
のれん償却額	106	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△223	△189
受取利息及び受取配当金	△102	△117
支払利息	48	45
持分法による投資損益(△は益)	16	14
有形固定資産売却損益(△は益)	5	0
固定資産除却損	14	28
売上債権の増減額(△は増加)	△47	548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△776	△1,272
仕入債務の増減額(△は減少)	127	168
投資有価証券売却損益(△は益)	475	—
未払退職金の増減額(△は減少)	20	△128
その他	△196	△849
小計	4,420	2,830
法人税等の支払額	△765	△1,257
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,654</b>	<b>1,572</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	220	△104
有形固定資産の取得による支出	△1,287	△1,105
有形固定資産の売却による収入	36	1
無形固定資産の取得による支出	△343	△207
有形固定資産の除却による支出	△24	△14
投資有価証券の取得による支出	△149	△300
投資有価証券の売却及び償還による収入	556	2
利息及び配当金の受取額	100	89
長期前払費用の取得による支出	△16	△17
その他	60	4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△846</b>	<b>△1,651</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△516	△438
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△816	△518
配当金の支払額	△428	△471
リース債務の返済による支出	△30	△53
自己株式の売却による収入	86	134
自己株式の取得による支出	△1	△0
利息の支払額	△45	△42
その他	△3	△3
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,656</b>	<b>△1,393</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177	△76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	975	△1,548
現金及び現金同等物の期首残高	9,960	11,055
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119	55
現金及び現金同等物の期末残高	11,055	9,562

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、常務会等で経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは『基幹事業（楽器・音楽教室）』の成長を中心として、100年ブランドの確立を目指すため、国内では地域ユニット体制による収益力の強化を深化させ、また中国でも中長期的な成長に向け、楽器販売、音楽教室、調律の三位一体体制での事業推進により企業価値の向上を図ってまいります。こうした経営環境を背景に、マネジメントアプローチの考え方にに基づき、「楽器教育事業」、「素材加工事業」を報告セグメントとしております。

「楽器教育事業」は、楽器の製造販売及び楽器の調律・修理及び音楽教室・体育教室の運営、教材・楽譜・音楽教育用ソフトの製造、販売をしております。「素材加工事業」は、電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理と同一の方法によっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,586	10,606	69,192	3,183	72,376	—	72,376
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	476	477	385	863	△863	—
計	58,587	11,082	69,670	3,569	73,239	△863	72,376
セグメント利益	2,578	1,131	3,709	7	3,717	△47	3,669
セグメント資産	34,035	7,514	41,550	2,367	43,917	9,314	53,231
その他の項目							
減価償却費	935	461	1,397	3	1,400	125	1,526
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,070	363	1,433	7	1,440	164	1,605

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,049	9,646	66,696	4,605	71,302	—	71,302
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	527	528	408	937	△937	—
計	57,051	10,173	67,225	5,014	72,239	△937	71,302
セグメント利益	1,814	1,124	2,939	142	3,081	△121	2,960
セグメント資産	34,211	7,609	41,821	2,562	44,384	7,374	51,758
その他の項目							
減価償却費	1,018	433	1,451	3	1,455	132	1,587
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,095	313	1,408	26	1,435	66	1,501

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	78	10
全社費用※	△126	△132
合計	△47	△121

※ 全社費用は、主に特定セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△1,502	△2,121
全社資産※	10,816	9,495
合計	9,314	7,374

※ 全社資産は、主に提出会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,912.42円	2,980.47円
1株当たり当期純利益	235.23円	180.17円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

（前連結会計年度 40千株、当連結会計年度 一千株）

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前連結会計年度 50千株、当連結会計年度 19千株）

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	2,010	1,545
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	2,010	1,545
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,545	8,575

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	25,005	25,717
純資産の部の合計額から控除する金額 （百万円）	89	100
（うち非支配株主持分（百万円））	(89)	(100)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	24,915	25,617
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	8,555	8,595

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。